

幸せな贈り物

## 欲望の落とし穴 そして捨てられる バカンス・ベイビー

歴代最高の離婚慰謝料支払い金額 (単位・ドル)	
1	ルパート・マドック (事業家) :17億
2	アドナン・カシヨギ (武器商) :8億7400万
3	タイガー・ウッズ (ゴルフ) :7億5000万
4	グレイグ・マッコー (IT企業家) :4億6000万
5	マイケル・ジョーダン (バスケット) 1億5千万
6	ニール・ダイヤモンド (歌手) 1億5千万
7	ハリソン・フォード (映画俳優) :1億1800万
8	グレッグ・ノーマン (ゴルフ) 1億300万
9	スティーブ・スピルバーグ (映画監督) 1億
10	マドンナ (歌手) :9千万 (資料: ウィキペディア)

**欲望の落とし穴** 休みが始まる7月、女子高生イム(18)さんは、友だちと一緒に海に旅行に行きました。しかし、旅行のあと、イムさんは海辺で会った見知らぬ男との一夜で「バカンス・ベイビー」ができて、一瞬の快樂で身と心に流すことができない傷を残すようになりました。実際に、避妊研究会の昨年12月の調査の結果、女性たちの婦人科処方件数が7月と8月にそれぞれ25%、23.5%でいつもより10%高かったし、バカンス以後墮胎に関する問い合わせの電話が増える傾向があると明らかにしました。

人間の欲望も終りがありませんが、その欲望の果ては無惨であるだけです。医療情報提供サイトである「メディカルビルディングエンコーディング」は、最近アメリカで一年の性的快樂の中で窒息死する人

が1千人に達するという統計を出し、韓国の児童性暴行犯罪は4年の間69%増加したと女性家族部は、7月1日に明らかにしました。特に、性犯罪の「低年齢化」の傾向は深刻な状況で、性暴行に引き続き、証拠隠滅のための殺人、放火などが行われるなど、手法ももっと無惨になったと言われています。また、今年は性暴行発生最高値の記録更新が予想されると、警察庁は明らかにしました。

スターたちの欲望中毒も例外ではありません。2009年の末、性醜聞以後45日間セックス中毒 sex addict の治療を受けたゴルフの帝王タイガーウッズ(35)が7億5,000万ドル(約625億円)の離婚慰謝料を妻エリン・ノルデグレンに支払うことにしたのですが、ウッズが払う事にした巨額の慰謝料は、妻ノルデグレンが一生ウッズがしたことに関して沈黙を守らなければならないという「沈黙の対価」だと言われています。一方、ポルトガルの代表的なサッカー選手で、レアル・マドリードの看板スターであるクリスティアーノ・ロナウド(25)が、最近もうけた男の子は、アメリカの代理母ではなく、レストランのウェイトレスと一夜をともにして生まれたと言われています。ドイツのテニススターのベッカーも、一夜のなれそめで生まれた子どもの養育費で2,000万ポンド(約30億円)を支払わなければならなかったのですが、このたび、ロナウドは養育費と秘密維持で1,000万ポンド(約15億円)を支払ったということです。

### 人間の欲望、何が問題なのでしょう

21世紀は歪曲された性文化、性の売買、家庭崩壊、性とかかわる病気(AIDS)、次世代たちの麻薬と墮落にまみれて行っています。これがまさに、サタンが一番好きな戦略の中の一つなのです。

それなら性は、はたして悪いことなのでしょうか。もともと性は神様が一番美しく創造されたのです。アダムはエバを見て「これこそ、今や、私の骨からの骨、私の肉からの肉」(創世記2:23)と告白しました。

ところが、どうして墮落してしまったのでしょうか。聖書の創世記3章を見れば、サタンの嘘にだまされて神様を離れるようになった人間に、サタンは三つの情欲を植えました。「肉の欲、目の欲、暮らし向きの自慢」(ヨハネの手紙第一2:16)この時から、人間に墮落文化が始まりました。サタンが人間を破壊させる一番有効な道具

として利用したのが性です。淫乱文化を作って商品化して、文化化して、大衆化して、性的な墮落を当然のことにさせてしまいました。

ルームサロンへの出入り経歴 7 年になるある会社職員は、よく通っていると、自分の合理化過程を経て「男たちがみんなしている文化生活だから…」と言いながら、自己催眠の段階に入るようになったと告白しました。

聖書は淫乱文化に対して、このように警告しています。「遊女と交わる者は、財産を滅ぼす」(箴言 29:3)、「むなししいものを追い求める者は貧しさに飽きる」(箴言 28:19)、淫乱に陥った者に向けては「このような者をサタンに引き渡したのです。それは、彼の肉が滅ぼされるためですが…」(コリント人への手紙第一 5:5)とされています。

結局、サタンの目標は淫乱の段階を通して個人の人生を崩して、家庭、次世代、社会を崩すことです。

**欲望の沼から出る道** 本質が回復しなければ、欲望がもたらす苦痛と不幸も終わりません。はじめから魚は水で生きて、木は地で生きるように創造されました。同じく人間は神様とともに生きるように創造されました。この創造原理を離れては幸せではないのです。しかし、人間はサタン(悪魔)の誘惑を受けて神様を離れるようになり、その結果、人間の運命はサタンに左右されて、罪と呪いと苦痛の中に陥るようになりました。わけもわからないむなしさと不安が尋ねて来て、幸せを捜してあがくの、欲望の沼にはまって、結局は繰り返す墮落と犯罪の中で迷い、死んだ後にはさばきを受けて永遠な地獄に落ちるようになりました。善行や教育、哲学、宗教は良いことですが、このような人間の本質的な問題を解決することはできないのです。この地でサタンを無くすことができる英雄はいません。しかも、人間の罪を解決することができる義人もいなくて、永遠ないのちを回復させてくれる人もいないのです。これは霊的な問題なので、どんなことでも解決する

ことができないのです。

それで、神様は人間が解決することができない原罪、その結果で来た呪いと災い、運命とさだめ、目に見えないサタンのしわざを解決するキリスト(Christ)を送ることを約束してくださいました。人間が神様に会う道になってくださり(ヨハネの福音書 14:6)、すべての罪と呪い、運命から解放させる道になってくださり(ローマ人への手紙 8:2)、サタン(悪魔)のしわざを打ちこわして、その手につかまって奴隷のようになっている者たちを解放する道になってくださいました(ヨハネの手紙第一 3:8、ヘブル人への手紙 2:14~15)。

このキリストがイエス様なのです。だれでも、今、この時間に、イエス・キリストを私の救い主だと信じて口で告白して受け入れる瞬間、神様の子どもになる祝福、もともとの人間の祝福を回復するようになります。イエス・キリスト、その方が私の人生の主人になるとき、はじめて真の満足、真の幸せが人生の中に位置を占めるようになるでしょう。

「何事かを自分のしたことと考える資格が私たち自身にあるというではありません。私たちの資格は神からのものです」(コリント人への手紙第二 3:5)

### 神様の子どもになる 受け入れの祈り

愛の父なる神様、私は罪人です。今まで神様を離れ、サタンに支配のもとに縛られて奴隷のように生きていました。しかし、いま、この時間イエス・キリストを私の救い主、私の神様、私のキリストとして受け入れます。

イエス・キリストが神様に会う唯一の道となられ、サタンの権威を打ち砕かれ、すべての罪と呪いと災いから私を解放してくださいましたキリストであると信じます。いま、私の中に来てくださり、私の主人になってください。いまから私の生涯を細かく導いてください。

イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン



## 福音と宗教の差①

スーパーを営んでいるあるおばさんに会って、ちょっと対話を交わしたことがあります。おばさんは創価学会という宗教に凝っていたのですが、熱心に祈って、善良で正しく暮そうとする努力のおかげで多くの祝福を受けていると確信に満ちて話していました。半身不随で苦勞したお父さんがいやされて、家族全員がその宗教を信じるようになったし、不治病で苦しむ人々が祈る中で病気が治る場合もたくさん見たと言いました。それに、子どもも祝福を受けて、息子はキョンヒ大学の漢方医学、娘はヨンセ大学の数学科に通っていると誇らしげに話をしました。結局、福音を受け入れないというその方に、短い時間で、いつか消えて変わる肉的祝福ではない、永遠な靈的祝福についてみことばを伝えました。

現場で会ったある女の人は、健康食品を扱う店を運営していたのですが、名前が珍しいけれど良いとほめてあげると、自分の名前を早いうちに変えようと思っていると聞きました。理由は、自分の名前について話した人の中に、名前の意味と画数が母親との関係に良くない影響を及ぼしたので、幼い頃から仕方なく母親と離れて大変に暮して来たとし、今は亡くなって会うことができなくなると言われたそうです。それでその方に名前を変えても変わらない靈的身分があるという事実と、その靈的身分を変える道、運命とさだめから出てくる道について話をしました。

人はだれもが肉的祝福が好きで期待します。しかし、神様の息子であるイエス様がこの世にいらっしゃった目的は、私たちの肉的問題を解決して祝福を与えるためではないのです。善良で正しくまじめに暮すことは生活の基本であり、常識であって、目的ではないということです。それは人間がよく食べて寝て生きると幸せにならないことと同じです。とても良い環境の中で、レベルの高い生活をしている先進国の国民の幸せ指数が低く、自殺とうつ病の割合が高いことが示唆していることは、私たちが少しだけ真実になって認めるしかない現実でもあります。

イエス信じれば病気がよくなることもあって、金持ちになったり、子どもが成功したり、さまざまな祝福を受けることが起きたりするでしょうが、それが信仰の本質では絶対にありません。むしろ聖書を見れば、信仰の人々は自分の信仰を守るのに、持っているものをすべて失ったり、いのちの脅威を受けたり、濡れ衣を着せられたり、愛する人から離れなければならない事もたくさん経験したことが見られます。神様が私たちに願われる信仰の基準、真の祝福の基準は肉的事や、今すぐ現実的なことにあるのではなく、靈的で永遠なことにあって、それはいのちとかかわりがあります。

伝道者パウロは、神様に会ってから、とても正しく義があるように暮して来た自分を捨てました。また自分を罪人の頭だと告白しながら低くなったし、他の人達がうらやましがって、欲しがるとのこと、自分が所有したすべてのものを、ちりあくたに思うと告白しました。地上の物ではなく、上から呼ばれた報いのために駆けて行き、神様のみこころと計画をなすことに、自分のいのちを少しも惜しく思わないと言います。宗教と違う真の福音の祝福を悟る恵みが皆さんにあるように願います。

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。(ヨハネの福音書 3:16)

### 神様の子どもの 五つの確信

- 1 救いの確信：**イエス・キリストを信じて受け入れた私は、神様の子どもになって救いを受けました(ローマ 8:15~16、Iヨハネ 5:10~13)
- 2 祈り答えの確信：**神様の子どもはイエス・キリストのお名前でも何でも求めることができ、神様はみこころ通りに必ず答えてくださいます(ヨハネ 15:7)
- 3 導きの確信：**神様は聖霊で私の中におられ、私のすべての人生を治めながら導かれます(ヨハネ 14:26~27、箴言 3:5~6)
- 4 救済の確信：**私のすべての罪はイエス・キリストのあがないの血の力で解決され、神様はだれでも罪を悔い改めれば許して下さいます(Iヨハネ 1:9、ローマ 3:24)
- 5 勝利の確信：**救われた私は、世の中に勝たれたイエス・キリストによって、どんな問題の中でも信仰で勝利することができます(ローマ 8:31~37、Iヨハネ 5:4)

### 神様の子どもの 毎日の祈り

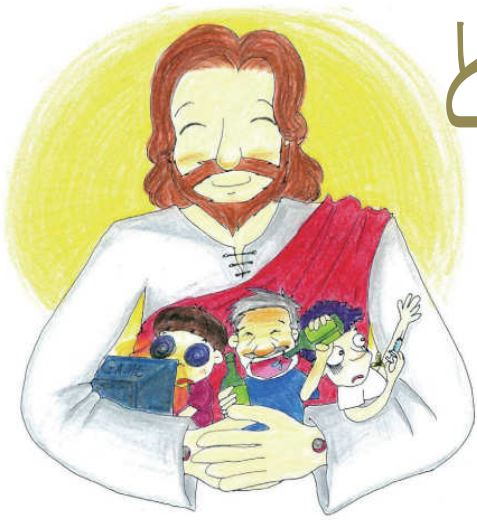
父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。私の家庭と現場と行くところごとに福音を邪魔して困らせるすべてのサタンの勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。

どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せ、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。

そして、私の生活を通してイエス様がキリストであるということがあかしされ、私の現場に神の国が臨むようにしてください。毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。

今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン





イラスト\_キム・ウヨン

## とんでもない集中力

事があるかと思えば、他人に被害を与えないが、個人と家庭に苦痛を与える変な集中力があつたりする。PC部屋のキムくんが、もしゲームに没頭するより学習課題をおいて集中することだけできたら、彼はマイクロソフト社のビルゲイツの右に出る人になることができるだろうに、彼は自分と家庭を戻ることのできない難しい状況にずっと導いて行っている。この学生の例だけでなく、これと似たとんでもない集中力が私たち周辺にたくさんある。事を成して行くのではなく、本質を逸脱した事をとんでもないことだと言うのだが、そんなとんでもないことが、誤った集中力、すなわち中毒症状に行くことは、社会の大きい荷物になって、個人を苦痛の道に入るようにさせる。

人間がそのようなとんでもない集中力を持つようになった背景は、創造主の贈り物をとんでもないように選択した結果だ。祝福の中のいのちの選択ができたのに、とんでもない死を選択した結果が、今日まですべての歴史を通じて証明されるように、その結果は、人間にとって苦勞して重荷を負うことに自分を縛りつけて、苦痛の道に行くようにさせる。病気を直すには正確な診断が必要だ。同じく、人間のとんでもない集中力を直す方法が、今の時代に切実に要求されている。はじめての選択自体が悪いことではないが、選択の内容が問題で、集中力自体が悪いのではなく、とんでもないことであるのが問題だ。

人間のとんでもないことをいやす方法は、神様のとんでもないことだ。確かに事の結果は、その値段を支払わなければならないのに、神様は値段を支払わないとんでもない方法で人間を救うことに決められたのだが、それがキリストを通じる救いだ。すなわち、人間のとんでもなさは、神様のとんでもないことでいやすられるので、そのとんでもないことに残された集中力は世界を生かすみわざ成すようになるだろう。

チョン・ヒョングク牧師(福音コラムニスト)

休みを迎えた中学生キムくん(16)は、PC部屋で一日を始めるとのことだ。簡単にお菓子で朝を済ませたあと、メッセージャーに接続して、先に接続していた友だちに声をかける。友だちがみんな集まったら同時にインターネットゲームを始める。鉄砲をうって相手をやっつけるゲームをしている途中、自分のキャラクターが鉄砲に当たると気分が悪くなって、それから格闘ゲームを行う。昼休みがずいぶん過ぎたが、パクくんは家へ帰るつもりはない。PC部屋で簡単に食べることができる食べ物を売っているからだ。お金が多ければジャージャー麺を頼んだが、この間PC部屋で夜を過ごしたせいで、ラーメンでだいたいすきっ腹をなぐさめたあと、またゲームに集中する。夕飯までPC部屋で食べてからは夜10時が過ぎる。家から電話がずっとくるから、携帯電話を切ってしまう。一日分の小遣いがすべてなくなると席から立ち上がるが、顔には惜しい表情が消えない。韓国では、このような子どもが普通の学生の半分くらいと思っても間違いではない。もっと驚くべきことは、これよりひどい中毒状態にある子ども達が普通の学校の10%以上だと思えば良いのだ。

このごろは専門家時代だ。専門家というのは自分がする仕事に対して有能な集中力を持った人だ。専門家になろうとすれば、細分化された仕事の専門性を持って、専門性に集中して、専門化になる時、専門家として認められるようになる。専門家は仕事の成就にしたがって社会を発展させて生活をなしていく。ところで、私たち周辺にはこのように当然集中しなければならないことを通じて人に有益になる仕